

養成校の学生の描く病理検査部門のイメージ

(意識調査アンケートより)

◎橋本 克訓¹⁾学校法人修文学院 修文大学¹⁾

【大学の紹介】

はじめに私が所属している修文大学の紹介をさせていただきます。修文大学は学校法人修文学院が運営する大学です。愛知県一宮市にあるキャンパスには医療科学部臨床検査学科、健康栄養学部管理栄養学科、看護学部看護学科、短期大学部（幼児教育学科、生活文化学科）、附属一宮幼稚園、修文学院高校が設置されています。医療科学部臨床検査学科は令和2（2020）年4月に文部科学省の指定校の認可を受けた臨床検査技師養成校（指定校）として入学定員80名で開設し、現在、1～3年生までの3学年の教育を専任教員21名で担当しています。

【病理検査関連の教育】

私自身は臨床検査学科の開設に際して、病理検査に関する講義と実習のシラバス（授業計画・指針）を作成し、これに則して第1期の入学生より、講義と実習を担当しています。シラバスを作成するにあたり、最重要点の1つと考えたのは、臨地実習への対応です。限られた講義、実習時間で臨地実習に必要な最低限の知識と技術の修得させることを目標としました。

【臨地実習開始に向けて】

今年度の9月以降に初めての臨地実習生（3年生）を愛知県、岐阜県、静岡県の19施設に受け入れていただく予定です。現在、実習先の施設との打ち合わせや、事前の学生指導（臨地実習に臨む姿勢や実技の復習など）の準備に追われています。2022年度入学者から適用される新カリキュラムでは臨地実習は12単位とし、うち1単位は養成校での臨地実習前の「技能修得到達度評価実習」に充てること改訂されました。本学ではこの新カリキュラムで求められている、臨地実習前の「技能修得到達度評価実習」に相当する実習を旧カリキュラムで履修している3年生の前期（4月から7月末）に開講しました。病理検査部門での技能修得到達度評価項目は、（1）：Hematoxylin-Eosin（HE）染色系列の準備ができる。（2）：染色標本を封入して完成できる。（3）：組織標本を正しくパラフィン包埋できる（4）：パラフィンブロックを薄切できる。（5）HE標本を観察して臓器を同定できる、（6）：（Papanicolaou（Pap））染色系列の準備ができる。（7）：Pap標本を観察して判定できる。これら7項目に関して、今期の3年生に対しての評価は試行的に行っておりますが、新カリキュラムでは厳密に行う予定です。実際に今期の3年生に対して技能修得到達度評価実習を実施して、評価項目や評価方法の修正をする必要があると感じています。

【病理検査に関する意識調査】

コロナ禍のなか、世間一般的にはPCR検査、抗原検査、抗体検査など、臨床検査の重要性や認知度は高まっていると感じていますが、病理検査は臨床検査の各部門のなかでも認知度が低いと思われます。臨床検査技師養成大学に入学した学生（1年生）ではどうでしょうか。また、大学で病理学、病理検査に関する講義を受講した学生（2年生）、さらには学内の病理検査学実習を受講した学生（3年生）は病理検査にどのようなイメージを抱いたのでしょうか。そのほか、3年生後期に実施する臨地実習をどのように臨むのか、などを各学年の学生へのアンケートを実施し、病理検査部門のイメージ、認知度などを調査し、今後の講義、学内実習での指導の参考としたいと考えます。また、臨地実習でご指導していただく病理検査部門の技師の方々にもアンケートの結果をお示しし、臨地実習に赴いた学生への指導や、将来、病理検査を担当する後輩の育成の参考となれば幸いです。

連絡先：修文大学医療科学部臨床検査学科 橋本克訓 0586-45-2101（代）